

令和3年第2回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和3年2月22日(月)午後1時00分～午後2時5分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 502会議室
- 3 出席委員等  
教育長 玉川 良雄  
委員 江口 雄二  
委員 篠原 照男  
委員 白木 正博  
委員 林 哲人  
委員 木佐谷 真理子
- 4 会議に出席した事務局職員  
教育部長 小田 修  
教育次長 河村 貴子  
学校教育課長 世木 尚  
学校給食課長 池田 千帆  
生涯学習振興課長 片山 康秀
- 5 会議の書記 教育総務課長補佐 引頭 康行
- 6 会議録の署名委員 白木 正博 林 哲人
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題  
(1) 議案第1号 令和3年度下松市教育行政の基本方針について  
(2) 報告第3号 専決処分について  
(3) 報告第4号 下松市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について  
(4) 報告第5号 下松市学校給食費の管理に関する要綱の一部を改正する要綱について  
(5) 報告第6号 下松市立小中学校児童文化表彰について  
(6) 報告第7号 下松市芸術文化振興奨励賞について
- 9 会議の付議の顛末

○**教育長** それでは、ただいまより令和3年第2回下松市教育委員会会議定例会を開催いたします。  
本日の議事録署名委員は、白木委員、林委員でお願いいたします。  
それでは、議事に入りたいと思います。

(1) 議案第1号 令和3年度下松市教育行政の基本方針について

○**教育長** 議案第1号、令和3年度下松市教育行政の基本方針について説明をお願いいたします。  
小田教育部長。

○**教育部長** 議案第1号、令和3年度下松市教育行政の基本方針について説明します。  
2ページをごらんください。  
この基本方針ですが、市政全般の方針としては令和3年度施政方針がございますが、こちらは

教育行政に関わる方針でございます。今回令和3年度から市総合計画が改定になりますので、これに合わせてこの基本方針の構成を少し見直しております。

まず、これまで3項目でしたが、各課ごとに設定しようということで、学校給食課と図書館を加えて5項目にしております。

したがって、1、安全安心で快適な教育環境づくりが教育総務課、2、心豊かに生きる力を育む学校づくりが学校教育課、3、安全安心でおいしい学校給食づくりが学校給食課、4、生涯学習支援による学びのまちづくりが生涯学習振興課、5、市民に親しまれる情報拠点づくりが図書館という構成になっております。

次に、各課の方針に今読みましたタイトルをつけております。これまでこのタイトルは、ついておりませんでした。教育大綱の基本目標が一番上に書いてありますが、「多様な教育、学習の機会の充実による生涯にわたり、いきいきと学べるまちづくり」と、いうふうになっております。文末が、まちづくりになっておりますので、各方針のタイトルの文末も「何とかづくり」ということでそろえております。

基本方針の内容ですが、前段が教育大綱の期間であります5年間を通した方針内容としております。後段は、当年度の主な施策という構成にしております。

したがって、令和3年度の中心的な施策としては、1は、ICT環境整備としてICT機器整備及び通信環境増強を図ります。

2は、GIGAスクール構想の実現に向けて教員研修体制の充実をめぐるほか、教員、補助員等の事務的支援など、学校における働き方改革を推進します。

3は、中学校給食センターの大型調理機器を計画的に更新します。

4は、平成時代の記録冊子の発行に向けて、市史編纂準備事業に取り組みます。

5は、郷土資料デジタルアーカイブや古地図リーフレットを活用して町の魅力を発信しますとしております。

説明は以上でございます。

○**教育長** 一括して提案説明をしていただきましたが、補足とかございませんか、よろしいですか。

そしたら、質疑に入りたいと思います。ご質問のある方は挙手をお願いいたします。白木委員。

○**委員** 今の説明によりますと、それなら前段はもう来年以降も基本的に変わらないことですかね。

○**教育長** 小田教育部長。

○**教育部長** これは、絶対変わらないものではないですけど、5年間に変えないつもりでございます。

○**委員** 生涯学習振興課の4番、市史編纂準備事業に取り組みますとありますが、いつ頃から取り組み始める予定ですか。

○**教育長** 片山課長。

○**生涯学習振興課長** こちらの事業につきましては、本格的には令和3年度から本格的に取り組みまして、6年の9月に完成予定でございます。11月の記念行事で発行という形にしたいというふうに考えております。

○**委員** この令和3年度前は、いつ発行されましたかね。

○**教育長** 片山課長。

○**生涯学習振興課長** 市史50年のときということですので、平成の初めに発行された。

○**委員** あ、なるほど。分かりました。

○**委員** 市史をよく見るんです。非常によくできていて、いいんですけども、あれがあんまり活用化されていないというか、実は随分余っているんですね。だからあれをうまく一般の皆さんというか、研究団体とか学校とかうまく使ってもらえるように活用方法を考えていただきたいと思えますね。

だから、この記念式典に配るのもいいけど、もっと役に立たせたいとか、欲しいとか、それを勉強したいという人はいっぱいいると思う。そういった人を見つけ出して、それで有料ですけども、そういった人に安くあげるとか研究材料として、そういった活用をうまく考えていただけたら、ありがたいなと思います。

○**教育長** 小田部長。

○**教育部長** 今回のものは平成時代の記録、冊子でございますので、正式な市史は、また市制施行100周年となる時にしたいと考えています。ですから、今回のこの記録冊子がきっかけになって、市史に関心を持っていただくというふうになればいいと思っております。

○**委員** いいですね。

○**教育長** よろしいですか。（「はい」と言う者あり。）

そのほかございますか。木佐谷委員。

○**委員** 電子図書館が10月30日から始まったんですけど、今の普及率というかパスワードとかIDとか取られた方って、今どれぐらいいらっしゃるのかなと思って。子供たちの読書離れが結構深刻化しているので、その入り口になればとおっしゃっていたと思うんですよね。私もすごくいい案だなと思っていたので、ちょっと今子供たちがどれぐらい気にしているとか、興味があつて見ている子がいるのかなというのが気になったんですけど。

○**教育長** 長弘館長欠席ですが、小田部長。

○**教育部長** 私も登録者数が気になる場所なんですけど、今日図書館長が欠席でございます私把握しておりませんので、また聞いておきたいと思えます。

○**委員** すいません、お願いします。

○**教育長** そのほかございますか。よろしいですかね。反対等ございませんよね。

それでは、これは議案ですので一応採決をしたいと思えます。皆さん、賛成ということでよろしくございますか。（「はい」と言う者あり。）可決ということで、よろしく願いいたします。

## （2）報告第3号 専決処分について

○**教育長** じゃ、続きまして、報告第3号、専決処分について、関係課長から説明をお願いいたします。河村次長。

○**教育次長** 専決処分した令和2年度の教育費関係の補正予算のうち、まず教育総務課の所管するものについてご説明いたします。

6ページをごらんください。

それぞれ歳入、歳出について記載しておりますが、初めに歳出についてご説明します。

今回の補正予算において、まず新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった行事等に係る経費を削減しております。

教育総務課の所管するものといたしましては、教育委員会費63万8,000円と事務局費8万6,000円です。

次に、小学校管理費の特別工事のうち、東陽小学校トイレ改修工事7,200万円です。これは東陽小学校のトイレは1年で全てのトイレを改修することは難しいので、今回は第1校舎の2階、3階及び第2校舎の1階、2階のトイレを改修いたします。国庫補助の追加内示を受けて実施するもので、工期としては令和3年の夏季休業前から12月頃までを予定しております。

なお、第1校舎の1階のトイレにつきましては、職員用のトイレも含めて次年度以降に実施する予定です。

次に、同じく特別工事の児童預かり180万円とございますが、これについては健康福祉部子育て支援課の所管でございます。

続いて、歳入についてご説明します。

国庫補助金、学校施設環境改善交付金1,784万2,000円、これが東陽小学校のトイレ改修に係る補助金です。

下のほうに市債というのがございます。そちらのほうにも東陽小学校トイレ改修事業というのがございますが、これは本事業の財源として市債を充てるというもので、これについては企画財政部財政課の所管となります。

教育総務課は以上です。

○**教育長** 片山課長。

○**生涯学習振興課長** 続きまして、生涯学習振興課関係のものでございますが、社会教育費でござ

います。主には新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった行事等にかかる経費を減額したものでございますが、社会教育総務費のみご説明いたします。

こちらにつきましては、指定管理者が施設の管理に要した新型コロナウイルス感染症対策に係る経費に対する負担金を新たに支出するもので70万円を計上しております。その関係でこちらだけプラス9万4,000円という形になっております。

それと歳入のほうの説明1件ございまして、寄附金でございます。こちらにつきましては、教育文化振興寄附金ということで、匿名で200万円頂いております。

以上でございます。

○**教育長** それでは、一般会計補正予算の説明はありましたが、質問がありましたらお願いいたします。白木委員。

○**委員** この今のA4版の前のページありますよね。これとの関連なんですけど、これは教育費総額が1億1,113万8,000円、こっちのほうは2億6,000と、これはどういう関係なんですかね。説明のほうは2億6,000何ぼになって、こちらは1億1,000、ちょっと追うてみたんですが、よう分からなかったんですが。

○**教育長** 小田部長。

○**教育部長** A3版の大きいほうですね、この2億6,100幾らというのは、全体で。一般会計全体ですね。

○**委員** こっちのほうのA4の1億1,100は、補正額が。

○**教育部長** これは教育費だけです。

○**委員** ああ、そうですか。

○**教育部長** ですから、合計のところも2億6,000も1億いくりに直せば、分かりやすいかもしれませんけど、議会の資料としてはあくまで全体の数字が出ていますので、2億6,100幾らになっております。

○**委員** それと、繰越しがあるんですが、これはもう発注済みなんですか。トイレの改修事業とか公集小学校の空調設備がありますね。これは入札終わってるんですか。

○**教育長** 河村次長。

○**教育次長** これにつきましては、このたびの補正ですので、まだ業者発注は終わっておりません。

○**委員** これは今から、発注はしていないこと。

○**教育次長** 今から業者選定するということなんです。

○**委員** それと、もう一点。これは、所管が違うかもしれませんが、幼稚園費で4,000万円ちゅうのは結構大きいような気がするんですが、何を補正したんですかね。所管が違うから分からんかね。

○**教育長** 小田部長。

○**教育部長** これは幼稚園費の約4,000万円というのは、私立幼稚園施設型給付申請時に移行した園の増加等に伴う増額として6,122万1,000円。あと減額がありまして、約4,000万円になっているというところです。

○**教育長** よろしいですかね。

そのほかの委員さんで質問がありましたらお願いします。木佐谷委員。

○**委員** すいません、特別工事の児童預かりのところで、これ子育て支援課さんだとおっしゃったんで、ちょっと分からないかもしれないんですけど。高学年児童対象に各休業中において第2理科室を使用するためと書いてある。今たしか4年生までが募集対象なんですけど、夏休みは6年生までオーケーになるのか、もしくは密を避けるためにそちらを利用するという形なんですかね。すいません。

○**教育長** 河村次長。

○**教育次長** 子育て支援課のほうの説明を聞いておりますと、高学年まで預かり対象を広げるというようなことでございました。

○**委員** 助かってですすね、お母さんたち。

○**教育次長** 具体的なことは、また説明があると思います。

○**委員** 分かりました、ありがとうございます。

○**教育長** そのほかございますか。

ないようですので、続きまして、当初予算の説明に入りたいと思います。どなたから説明していただきましょう。小田部長。

○**教育部長** 資料7ページからでございます。令和3年度教育費関係当初予算(案)の説明をさせていただきます。

当初予算のスケジュールにつきましては、今後3月3日に総務教育委員会がありまして、3月16日が総括審査、3月25日が最終本会議で議決という流れになります。

では、7ページでございます。

歳出予算についての教育費の費目別の一覧表になっています。教育費の合計が一番上ですけど、本年度は31億3,858万4,000円です。この中に教育委員会ではない市長部局の費目が2つほど含まれております。

1つ目が、教育総務費の一番下の幼稚園費、こちらは子育て支援課の所管で6億5,762万6,000円です。

2つ目は、一番下の保健体育総務費、これはスポーツの関係ですけど、地域交流課の所管で2億5,033万3,000円、この2つの費目を差し引いたものが実質の教育委員会の歳出予算ということになります。

小学校費を見ていただきますと、8億7,739万6,000円は、中学校費の4億5,374万3,000円の大体2倍近くになっておりまして、おおむね児童生徒数に比例しているのかなと言えます。

次に、8ページからの主要施策の概要を説明します。

この資料は、2月8日に行われました記者発表資料の抜粋です。施策に星印がついていますが、星印は主な事業ということで大型事業及び新規事業となっています。

5の教育文化の右端に一般会計22億2,643万5,000円となっていますが、この中で社会教育費の中の人権教育費419万円、これは市民協働の分野に入っております。ですから、それは入っておりません。

まず、教育総務課の事業です。

小学校施設環境改善7,000万円、東陽小学校昇降口天井改修、公集小学校普通教室等床改修及び外構アプローチ改修、花岡小学校屋内運動場照明LED化工事を行います。

また、東陽小学校トイレ洋式化工事7,200万円を行います。東陽小学校のトイレの洋式化は今、補正予算の説明がありましたけど、令和2年度の繰越事業となります。令和2年度末の学校トイレ洋式化率は約77.5%となりまして、県内13市で一番進んでおります。

次に、下松小学校建設事業1億140万9,000円、学校施設耐震化事業の最終年次として下松小学校は普通教室棟が完成し、第2校舎解体及び外構工事を行います。

スケジュールは、普通教室棟こちら1年生から4年生の16教室、これが4月末の完成予定、第2校舎解体が9月中旬頃、外構工事が11月末完成予定です。

次に、中学校施設環境改善6,000万円、下松中学校昇降口天井改修、久保中学校屋上防水改修、このほかに末武中学校テニスコートポール改修工事を行います。

一番下、中学校セミナーハウス施設整備事業、1,850万円。笠戸島にありますセミナーハウス屋上防水改修とトイレ洋式化工事を行います。

次に、9ページです。

こちら学校給食課の事業です。小学校、中学校給食センター管理運営業務5億1,355万3,000円、これは全体の予算です。

内訳は、小学校給食センターが3億2,896万3,000円、中学校給食センターが1億8,459万円。中学校給食センターは大型調理機器を計画的に更新します。内容は食器消毒保管庫とトレイ消毒保管庫、合わせて1,000万円です。

次に、学校教育課の事業です。コミュニティスクール推進事業763万円、内訳はコミスクコーディネーター報酬が584万3,000円、コミスク推進事業交付金が110万円などとなっております。

次に、ICT教育推進事業1億3,629万9,000円、こちらハード事業が教育総務課、ソ

フト事業が学校教育課の担当になります。

あさってから市議会の一般質問がございますが、このICT関連で4名の議員さんが質問をされております。

内訳ですけど、小学校ICT環境整備事業は、1億1,083万6,000円、中学校ICT環境整備事業が2,291万8,000円、ICT担当教育指導員が254万5,000円でございます。

内容として備品購入としましては、タブレットの購入、これが1,133台。小学校は1、2年生分の1,041台、中学校は生徒増等予備軍として92台、それから大型ディスプレイ20台、プログラミング教材108台などとなっています。

また、インターネット回線の容量増強も行います。

ちなみに、写真のICT機器を利用した学習というのは豊井小学校でございます。

次に、教員補助員配置事業3,056万円、特別支援教育の充実のため、教員補助員34名を配置します。

学校業務支援員配置事業701万5,000円、学校業務支援員を全小中学校に配置します。昨年度当初6名から10名に増員します。

一番下の部活動指導員配置事業104万1,000円、中学校の部活動指導員を増員します。昨年度の1名から3名に増員します。

続きまして、10ページです。生涯学習振興課の事業です。

青少年健全育成事業721万4,000円、放課後子ども教室、家庭教育支援事業、地域未来塾などの事業ですが、予算的に大きいのはヤングテレホンくだまつの460万3,000円で、社会教育指導員2名の報酬等となっております。

次は、図書館です。図書館運営事業7,498万5,000円。電子図書館が405万円、昨年10月30日にスタートしましたが、電子図書館のランニングコストでございます。内訳は、電子図書システム利用料が132万円、電子図書購入として268万円、690点の電子図書購入予定です。

生涯学習振興課に戻ります。笠戸公民館建設事業3,200万円、令和2年3月に建て替えた笠戸公民館の外構工事を実施します。内容は車両進入路の改修、建物周辺のアスファルト舗装などです。

次に、花岡公民館講堂建設事業6,800万円、花岡公民館講堂改築工事に着手します。こちら2年間の継続費を設定しております。令和3年度が6,800万円、令和4年度が3億8,200万円、計4億5,000万円の事業となっています。

次に、生涯学習推進事業515万4,000円、童謡フェスタ200万円は、第20回目の節目の開催となります。これをもちましてスターピア大ホールでの開催は終了しまして、その後は実行委員会で検討してまいります。

島の学び舎施設整備事業1,000万円、屋上等防水改修工事を行い施設の長寿命化を図ります。

最後に市史編纂準備事業309万7,000円、こちら主に委託料です。平成世代の記録冊子の発行に向けて市史編纂準備事業に取り組みます。令和6年度の市制施行85周年記念として冊子を発行いたします。事業期間は令和3年度から6年まで、総事業費は約1,700万円ぐらいを見込んでおります。本格的な市史編纂は市制施行100周年記念を考えております。

以上、令和3年度当初予算を説明させていただきました。

○**教育長** それでは、質疑に入りたいと思いますので、ご質問のある方は挙手をしてからお願いいたします。白木委員。

○**委員** 給食センターの大型調理器を計画的にとありますけれども、この計画を立てる際は耐用年数とかそういうのを勘案してですかね。壊れる前にはもう買い換えるという。

○**教育長** 池田課長。

○**学校給食課長** 実はこれまでの保守点検が中学校センターは、修繕が必要になったらメンテナンスをしてという繰り返しをしてきていて既に20年を超えているので、今後は修繕そのものの、修繕する部品がそろわなくなるというような状況になってくるのが見えてきたので、3年度でそ

れも含めてさらに詳しい計画を立てていこうとしております。その中の一つとして先ほど説明のあった消毒保管庫も何台かずつ、更新をしてきているので、その続きで新年度は2台ほど更新の予定となっております。

ですので、その他まだ手をつけていない、更新をしていないもののほうもありますので、それについては予算の関係もありますので、より具体的な計画を今後考えていかなければならないというふうに思っております。

○委員 それと童謡フェスタは、う大ホールでやめて、今後どういうふうになるか分からないちゅうことですね。

○教育長 片山課長。

○生涯学習振興課長 今委員さんがおっしゃられたように、大ホールというカスターピア全体を貸し切って今までやっておったんですけども、そういった大々的な行事はこれを次回の節目に一旦、最終というような形です。今後また実行委員会ですらでどういう取組でそれを続けていくかというのを話したいというふうに考えています。

○委員 「笑いと花と童謡」のキャッチフレーズはつづいていますか。

○教育長 片山課長。

○生涯学習振興課長 令和3年度から新しい市の総合計画というのがございまして、7ページ見ていただいたら分かるんですけども、社会教育費の中で、心豊かな人づくり事業というのが、令和3年度がゼロということになっていまして、これが生涯学習費のほうに組替えられております。ですので、「笑いと花と童謡」から新しいカラーを出そうということになるかと思っております。

○委員 分かりました。

○教育長 江口委員。

○委員 市民が参加するフェスタというかいろんな行事が、この頃だんだんなくなってきているような感じがするんですが。例えば4月に行われている桜桜フェスタとか、それから豊かな人づくり委員会の夏にいろんな事業をやったと思うんですが、こういったのと12月の童謡フェスタ、なくなってくるということは何かほかに代替りのものを考えていらっしゃるのか、あるいはもうやらないのか。

もう一つ、各地域の公民館祭り、こういった行事についてもだんだん予算が削減されて1割ずつぐらい毎年減らされているような現状を見ているんですが、どうも市民に対する援助がこの頃削られてしまって、ちょっと市民から不満の声が上がってきているんですが、この辺どうでしょうか。

○教育長 片山課長。

○生涯学習振興課長 フェスタ自体は、7月25日のくだまつ親子の日フェスタは3年度もやりまですし、今後とも取り組んでいくと。先ほど言いました星のふるまち童謡フェスタにつきましては、大々的な行事はこれで一旦終了しますけれども、いろんな何周年記念とか5年刻みでございまして、そういったときには今回みたいに、そうじゃないときはちょっと小さめのところでやるとか、メリハリをつけたような形で考えてもいいんじゃないかなというところもあります。

それと各公民館の行事でございまして、こちらにつきましては、市の全体を財政のこともあって若干、削られているというのも事実だろうというふうに思っておりますが、実際やめるとか、そういったことは一切考えていないというところがございます。

○委員 分かりました。

○教育長 林委員。

○委員 地域未来塾についてなんですけど、ちょっとこれ関わりが私ありますんで、先週スタッフのミーティングというのをやったんですが、今2年目が終わろうとしているんですけど、この活動については実は生涯学習振興課の西村主事さんにすごく動いていただいて、それからちょうど梯さんが末武公民館の館長だったということもあって、だから末武公民館すごく優先的に使わせてもらっているし、いろんな例えば教科書が必要、何が必要となったときに西村主事さんのほうがすごく動いていただいた。ですから、これ予算が組んであるんで、私たちは教えにしているんですけど、それは多分本当丸つきりお金も何もありませんから手弁当で行っているんですけど。

そういう西村主事とか公民館の梯さんのように、すごく献身的に引っ張っていただく方がいらっしゃるからもらったと言ったらおかしいから、できたようなことがありますんで。人事異動になっても後任の方ぜひ、その辺はよろしくやっていただきたいなということと。

それから、末武公民館に今年、来週の日曜日は、ここの公民館、中央公民館で借りることができたんですが、あと久保公民館とかそういうところが借りられれば、もうちょっと広げていけるかなというふうには思っているんで、ちょっとその辺の公民館の方に簡単にちょっと借りにくいとかのところがありますんで、その辺は多分新しい担当のほうで動いていただけたらと思うんですけど、よろしくお願ひしたいなと思っています。

○**教育長** 地域未来塾は、学校の先生を退職された方とか、担当がボランティアでやって成り立っているところがあるというのは、本当に申し訳ないなという気持ちでいっぱいなんです。引継ぎとかあるいは予算的な面あるいは末武公民館を拠点として拡充して、他校区の子供たちにも広げていきたいというふうに考えていますので、いろいろご意見とか出していただければありがたいなというふうに思います。今お聞きしたことは、担当課と考えていきたいなと思います。小田部長。

○**教育部長** 地域未来塾の関係ですけど、先ほど補正予算で個人の方から200万円をとというのがありましたけど、こちらとあえずまちづくり推進基金に積みますけど、ご本人の意向で地域未来塾の環境整備に使ってほしいということでございますので、令和3年度以降の地域未来塾に活用させていただくということになっているんですね。

○**委員** ありがとうございます。

○**教育長** 片山課長。

○**生涯学習振興課長** 環境整備ということで、先ほど来、林委員さんもおっしゃられていましたけれども、ほかの公民館というところで、今末武公民館だとWi-Fiとかそういったのがつながって部屋でやれるんですけども、次のほかの公民館でつなげていこうということになりますと、そういった環境整備が必要になってきます。

そういったところもあって、機器を買うというよりはそういう環境整備に先ほど頂いたご寄附等活用してやっていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○**教育長** そのほかございますか。

それでは、令和3年度の当初予算について、主な内容について一応共通理解をしていただいたと思いますので、ご了承のほどよろしくお願ひいたします。最終的には先ほど小田部長のほうからありましたが、3月25日、本会議で可決されるんじゃないかなという見通しです。よろしくお願ひいたします。

### (3) 報告第4号 下松市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について

○**教育長** それでは、続きまして、報告第4号、下松市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱についてを議題といたします。

担当課長のほうで説明をお願いいたします。世木課長。

○**学校教育課長** 11ページをごらんください。

報告第4号、下松市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について報告をいたします。

これは押印廃止の見直しに伴い、様式中の押印欄を削除するために要綱の一部改正を行うものでございます。

現在、市長部局の総務課において、押印廃止に関する方針を策定しているところですが、就学援助費に関する事務は3月中旬頃までには行う必要があることから、方針策定前ではありますが、方針案の趣旨に沿って早めに改正を行うものでございます。

この改正に合わせまして各様式の後ろに、様式番号の後ろに(第5条関係)とか(第6条関係)という言葉を追記しております。

以上でございます。



- 教育長** 質疑に入りたいと思います。ご質問ある方はよろしくお願ひします。白木委員。
- 委員** これはあれですよ、氏名のところに印があったわけですね、前に。それがなくなったというだけですね。はい。
- 教育長** よろしいですかね。  
押印廃止につきまして、教育委員会もですが、全庁的に今、見直しをしていくようです。じゃ、報告ですのでよろしくお願ひいたします。

#### (4) 報告第5号 下松市学校給食費の管理に関する要綱の一部を改正する要綱について

- 教育長** 続きまして、報告第5号、下松市学校給食費の管理に関する要綱の一部を改正する要綱について説明をお願いいたします。池田課長。
- 学校給食課長** 下松市学校給食費の管理に関する要綱の一部を改正する要綱について、これを報告するものです。  
14ページをごらんください。  
提案説明の一番下に書いてありますが、学校給食費から減額するパンと牛乳の単価を現状に合わせて見直し、規定の整備を行うものであります。  
減額するとあるんですが、基本の給食費から牛乳アレルギーや小麦アレルギーを理由にパンや牛乳を食べていない人には、3月の精算時にその単価に食べていない回数を掛けて減額をするという措置を取っております。その単価について現状に合わすというもので、牛乳につきましては、小学校、中学校同じ瓶の牛乳を飲んでおりますので50円を52円に、そしてパンにつきましては、小学校と中学校でサイズが違いますので、それぞれ小学校は63円に改め、中学校は70円に改めるものです。  
以上です。
- 教育長** 給食費のちょっと変更ということなんですが、ご質問ある方いらっしゃいますか。白木委員。
- 委員** これと直接関係ないんですが、もうじき年度末になりますけど、給食費の処理状況というのは順調ですかね。
- 教育長** 池田課長。
- 学校給食課長** また、今年度の一番最後で言うと、3月分が3月末に口座振替ということで、また年度末までの振替作業が終わっていない段階ではあります。  
令和元年度分で言うと99%の徴収率は維持できてはいるものの、出納閉鎖の、今年度の終わりで出納閉鎖をする時点では90%ぐらいにはいかないのではないかと思います。さらに出納閉鎖後も督促を行いながら何とか99%ぐらいまで持っていく感じにはなるのではないかなという見込みを立てておりますが、できるだけ維持ができるように引き続き督促作業も行っていきたいと思っております。
- 教育長** この納付率は全県的にはどうなるんですかね。分かりますか、すいません。池田課長。
- 学校給食課長** 山口県は、基本的には徴収率高いんです。実は下松市が一番低いぐらいなんです。なぜかと言うと、学校で徴収しない公会計化をしているのが下松だけなので、やはり公会計化で学校の顔が見えない状況で市の行政側が徴収するというと、やはり徴収が滞る場合が増えてくるのかなと。なので他市町に比べると下松市、同じ公会計をしていても徴収率がちょっと低いんです。ですが、その中でも全国的に見たら99%を維持していますので、まだまだいいほうではあると思っています。
- 委員** これは今、銀行で自動振替しているんですか。
- 教育長** 池田課長。
- 学校給食課長** 基本的には銀行口座の振替をお願いしていますが、それを望まない方もいらっしゃるの、納付書をご自宅に送るという形で納付をお願いしている方もあります。
- 委員** そうですか。
- 学校給食課長** はい。

- 委員 希望なんです、小学校の子供、給食費は市が負担するといったそういった時代になるといいですね、教科書と同じようにね、無償で提供できれば。いいですね。（笑声）いいですね、希望は、ええ。
- 委員 給食費は、材料だけを徴収ですか。
- 学校給食課長 そうですね。
- 委員 調理費は市が出しよるわけですね。
- 学校給食課長 はい。
- 委員 だから、やっぱり子供は増えてほしいというような時代ですからね、子供を優遇する、お母さんたちを優遇するためにもね、子供たちの給食費ぐらいつと負担して上げたいという気持ちはやまやまですね。
- 教育長 何かこの辺は財源が何かあると、できるかもしれないんですけど。かなりかかるんじゃないの。どのぐらいかかるかね、年間で。池田課長。
- 学校給食課長 年間小中学校で賄い材料費、食材費だけで2億2,000万円ぐらいです。なので、これが毎年のように財源として確実にないと、無償化というところに踏み切れないという現状がございますので、これは必ず財源が見込めないとスタートできない。気持ちとしては誰もが給食食べられるというのが理想的なので無償化もいいんですけど、その辺りでなかなか決まることはないのかなと今は思っていますが。
- 委員 何とかしたいですね。
- 教育長 白木委員。
- 委員 今の件ですけどね、市町村財政に余裕のある県とか市町で無料に近いようなことやっているところあるんですか。
- 教育長 池田課長。
- 学校給食課長 県内でも無償化しているところはあります。ですが、それは財源が明らかに確保できるというようなところで少数派だと思っております。でも、今後ひょっとしたら先ほど言われたような子育て支援という中で無償化に踏み切る市町が出てくることも可能性としてはあるかもしれないですけど、まだまだ無償化のほうが少ない状況です。
- 教育部長 県内だと岩国市と和木町はやっていましたね。その辺、財源的に余裕があるというか、そういったところですね。
- 教育長 なかなか財源の問題があるので、教育委員会の意向がそのまま市のほうに行くのはなかなか難しいと思いますので。（「そうでしょうね」と言う者あり。）思いはしっかり受け止めたと思います。
- では、5号につきましては、報告ですので承認という形でよろしいでしょうか。（「はい」と言う者あり。）

## （5）報告第6号 下松市立小中学校児童文化表彰について

- 教育長 では、続きまして、報告第6号に入ります。下松市立小中学校児童文化表彰について報告です。担当課長から説明をお願いします。世木課長。
- 学校教育課長 別添でお配りしております1枚物をごらんください。報告の第6号、下松市立小中学校児童文化表彰についてであります。受賞者を決定いたしましたので、ご報告をいたします。
- これは下松市教育委員会表彰規則に基づき、文化的活動において特に優秀な成績を修めた者について表彰を行うものであり、2月8日に選考会を実施し審議した結果、今年度は名簿のとおりでございます。小学校個人の部2名、中学校個人の部2名、小学校団体の部1団体を表彰することといたしました。
- なお、表彰式は、この後、午後4時から503会議室で実施することとしております。
- 以上でございます。
- 教育長 何かご質問等がございますか。
- 今年は作品応募とかコンテスト、大会がかなり中止になっているので、少なかったように思い

ます。

## (6) 報告第7号 下松市芸術文化振興奨励賞について

○**教育長** それでは、同じような内容ですが、報告第7号にいきたいと思います。

下松市芸術文化振興奨励賞について説明をお願いいたします。片山課長。

○**生涯学習振興課長** 報告第7号、下松市芸術文化振興奨励賞について、ご説明いたします。

下松市芸術文化振興奨励賞について受賞者が決定しておりますので報告します。

一般成人については、昨年(2020年)の1月3日に表彰式が行われておりますので、今回は中学生を除きました生徒及び学生ということになります。市内の高等学校に候補者推薦を依頼し、その結果、本年度は9名、1団体について推薦書が提出され、1月27日に選考会を開催いたしました。

受賞理由につきましては、資料の記載の実績のとおりでございます。個人については、在学中の活動を総合的に判断し、原則、生徒が3年のとき表彰することとなっております。

表彰式につきましては、受験等で首都圏をはじめ各地へ出向く生徒が多いため、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全高等学校申し合せによりまして今年度の表彰式は中止とさせていただきます。

以上でございます。

○**教育長** それでは、ご質問とか感想ありましたらお願いいたします。白木委員。

○**委員** これは何か副賞みたいな何かあるんですか。

○**教育長** 片山課長。

○**生涯学習振興課長** 副賞は、ついております。図書カードということになっております。

○**教育長** 江口委員。

○**委員** 今までこういった表彰見ていると、この下松市というのは写真とか放送とか演劇とか非常に他の市に比べてレベルが高いような感じがするんですが、いかがですかね。どうして、これが高いのか不思議ですが。(笑声) いや、とてもいいことなんです、とてもいいことだから、はい。

○**教育長** 世木課長。

○**学校教育課長** 指導者の問題もあるんじゃないかと思われまして。優秀な指導者がいらっしゃるのというふうに思います。あと、長年の先輩方から受け継いだ伝統というようなものがしっかり根づいてきているというような感じはします。

○**委員** 確かにそうですね。僕はこういったことを非常に大事にして、これを逆に売りにするぐらいにもっと積極的に応援したいんですがね、気持ちはね。例えば下松にはいろんな歌舞伎みたいなものがあるって、例えば花岡歌舞伎とか切山歌舞伎とかあって、これが今切山については東陽小学校の子供たちも子供歌舞伎をつくって今頑張っているということなので、そういったことをどんどん奨励して、市を応援するようなものがないかなと町を上げてね、こういった気持ちがあるんです、私は。そういった意味で非情に写真、放送、演劇が表彰されて、全国的にも伸びているというのは非常にうれしいことなので、どんどん応援してあげたいなという気持ちなんですということです。

○**教育長** 片山課長。

○**生涯学習振興課長** やはり高校の部のほうもそうなんですけれども、指導者、これによる力というのは相当あるんじゃないのかなというふうに思っております。

8番目のほうの舞台芸術で華陵高校、このたび中国大会に入賞しまして、来年度全国大会ということになるんですけれども、以前指導されておられました先生がいらっしゃった光丘高校ですかね、今光丘高校になりましたけれども、そちらのほうが強かったですけれども、このたび久々に華陵高校のほうが全国大会に行くというようなことで、やはり指導者の方の力というのは、本当に大きいなというふうに思います。

○**教育長** 文化面ですばらしい成績を団体、個人が上げておりますので、今日も小中学生を表彰しますが、どんどん市も表彰とか顕彰の中立ちをしていきたいなという考えであります。

議事については以上でございます。

～ その他報告・連絡事項 ～

○**教育長** そのほか、報告事項がありましたら担当からお願いいたします。よろしいですかね。引頭課長補佐。

○**教育総務課長補佐** では、来月の予定を確認させていただきます。

まず、5日の金曜日ですが、臨時会、学校教育課のほうを担当しますが、臨時会を開催いたします。今日案内の文書を机の上に置いておりますので、ご確認いただけたらと思います。

それから、定例会は18日の木曜日、1時半からこちらの部屋となっております。

3月は例年であれば卒業式がございますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止ということで、最小限の人数で挙行いたしますので、委員さんの出席はございません。

以上です。

○**教育長** よろしいですかね。（「はい」と言う者あり。）

じゃ、以上で、第2回の定例会を終了したいと思います。お疲れさまでした。

午後2時5分終了